

あいづわかまつ 文化財だより

発行：会津若松市教育委員会
編集：会津若松市教育委員会文化課
〒965-0873 会津若松市追手町2番41号
TEL 0242-39-1305 FAX 0242-39-1272

—第30号—
令和5年(2023)4月1日

市役所本庁舎の発掘調査



石組みの井戸

柱の跡

屋敷を区画していた？
大きなL字型の溝跡

令和4年11月23日に開催した現地説明会では、調査中の発掘現場を実際に見ながら担当者が解説を行いました。



発掘調査で出土した陶磁器

現在、庁舎の建て替え工事を進めている市役所本庁舎の周辺は、江戸時代には上級武士の家屋敷が立ち並んでいた場所です。新しい庁舎を建てる際に土の中に残る遺跡を保存できない範囲について、令和4年の7月から12月にかけて発掘調査を行いました。

調査では、武家屋敷で使用されていたと見られる食器などの陶磁器や、お箸や下駄といった木製品、古銭や煙管の部品などの金属製品も出土しました。

他にも、石組みの井戸跡や、池の跡、屋敷の境目を区画していたとみられる大きな溝など、武家屋敷の痕跡を確認しました。

今回の発掘調査の全体の成果については、令和5年度に歴史資料センターまなべこで展示します。実際に遺跡から出土した資料も展示する予定です。ぜひ足をお運びください。

文化財の保護 未来へ残すために

第69回文化財防火デー

昭和24年(1949年)1月26日に法隆寺金堂の壁画が焼損したことを教訓に文化財を火災等から守り、後世に残すために、毎年1月26日が「文化財防火デー」と定められました。

また、令和元年のフランスのノートルダム寺院における大火災や、沖縄県那覇市の首里城の火災を受け、さらなる文化財の防火対策の推進や防災意識の高まりが求められています。

市では、毎年、文化財防火デーにあわせて、火災防ぎよ訓練や防火査察を行っています。

防火査察

1月20日に会津若松消防署との合同で、旧滝沢本陣やさざえ堂などの国・県指定の文化財建造物など9施設を対象に、防火設備の管理状況の確認や防火・防災の指導を行い、各施設において防火設備が適正に管理されていることを確認しました。

火災防ぎよ訓練

1月22日に、北会津町下荒井地内にある市指定文化財「下荒井観音堂」において訓練が実施されました。観音堂からの出火を想定し、町内会役員による通報・初期消火訓練、会津若松市消防団第14・15・16分団、会津若松消防署による中継送水や放水訓練など、本番さながらの訓練が行われました。

文化財は、かけがえのない「地域の宝」であり、後世に残していくには、文化財所有者はもちろんのこと地域全体での防災意識の高まりが重要となりますので、ご協力をお願いします。



防ぎよ訓練の様子

市文化財保存活用地域計画

私たちが暮らす会津若松市の現在の姿は、自然や先人たちの営みによるものです。

市のシンボルである若松城跡(鶴ヶ城)のほか、市内には赤井谷地沼野植物群落、大塚山古墳、八葉寺阿弥陀堂などを始めとした多くの歴史資源があり、それらは本市の歴史や文化を今に伝えるものです。

市では、令和4年3月にそれらの歴史資源の保存を図りながら活用を進めていく「会津若松市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和4年7月に文化庁の認定を受けました。

この計画は、「地域活性化」と「歴史文化を活かした文化観光」の2つの目標を定め、各地域において歴史文化の保存・活用を推進することで、先人たちが守り伝えてきた貴重な歴史資源を次世代に継承し、歴史文化を活かしたまちづくりを進めていこうというものです。

本市の歴史資源の魅力を再発見し、未来へ活かすまちづくりには、皆様のご理解とご協力をお願いします。

天然記念物ニホンカモシカの保護

市内で生息が確認されるニホンカモシカは、特別天然記念物に指定されています。カモシカは比較的小さな動物で、ほとんどの場合は山に帰っていきま。生きているカモシカを見つけても、近づいたりおどろかせたりせずにと見守りましょう。また、市内で天然記念物に指定され



ている動物の死体を発見された場合は、文化課までご連絡ください。

なお、それぞれの動物の写真や解説は、文化庁のホームページでご覧いただけます。

遺跡内での工事は届出が必要です!

市内には、500ヶ所以上の遺跡(周知の埋蔵文化財包蔵地)があります。

遺跡は、地中にあるため、工事等の掘削により壊れてしまう恐れがあります。そのため、工事などの際には、事前に遺跡の範囲内であるかどうかの確認をお願いします。文化課窓口のほか、FAX・メールでもお問い合わせいただけます。

また、遺跡内で工事を行う場合は、60日前までに届出と協議が必要となります。

貴重な遺跡を後世に伝えるために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

発行・編集/会津若松市教育委員会文化課 ☎0242-39-1305
E-mail: bunka@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp
〒965-0873 会津若松市追手町2番41号

ホームページ...2次元バーコードを読み取ってください
<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/bunkazai/>



文化財の活用

知ってもらおうための取組み(令和四年度)

赤井谷地観察会

湊町にある赤井谷地沼野植物群落は、かつて猪苗代湖の一部水位が下がったことにより形成された陸化型の高層湿原で、谷地内には約2万年前の水河期に自生していた植物が多く、約200種の植物のうち北方系の植物が38種確認されており、学術的な価値が高いことなどから、昭和3年(1928)に国の天然記念物に指定されています。

この赤井谷地を体感し、湿原への保護・保全について理解を深めていただくため、観察会を9月に開催し、13名の市民の皆さんが参加しました。講師は、長年調査に携わっている日本大学の笹田准教授で、谷地の成り立ちや植物について説明いただきました。

谷地内に自生する希少な植物を探し、観察する場面では、子供たちがいち早く目的の植物を探し出していました。



谷地内の希少な植物を見ることができるかも!?

※赤井谷地は、湿原の保護のため、普段は立ち入り禁止となっておりますのでご注意ください。

院内御廟歴史散策会

市では毎年、御廟の森を散策しながら墓所や会津藩の歴史について学ぶ散策会を開催しています。今年度で14回目となり、令和4年11月13日に開催しました。今年も、①墓所の見方を学ぶ初心者向け、②歴史について



紅葉と併せての散策もいいですね!

まなべこ歴史文化講座

歴史資料センターまなべこでは、郷土の歴史や文化について学ぶ歴史文化講座を開催しています。

昨年は、神指城や、陣が峯城、向羽黒山城、柏木城といった、若松城以外の会津のお城についての講座や、大河ドラマで話題になった鎌倉時代の始まりについての屋内講座などを開催しました。

また、実際にお城の中を



石垣を見ながら、特徴をスケッチして学びます!

日本天文遺産認定記念文化講演会

10月19日(水)、日新館天文台跡の日本天文遺産認定を記念し、本市出身で国立天文台特任教授の渡部潤一氏をお迎えし、会津藩が江



渡部潤一特任教授による講演会

発掘調査 地中に眠る遺跡の記録

高野地区発掘調査

高野地区で実施中の農地整備に伴い、令和3年度から発掘調査を実施しており、昨年は5月から11月まで発掘調査を行いました。

今回の発掘調査では、奈良・平安時代の掘立柱建物跡や土器が見つかったほか、その当時に流れていた河川の跡などが見つかりました。

これまでの調査から、高野地区周辺では9世紀の遺跡が多いことが判明しています。当時の人々は、大小無数の河川の間の高台に、掘立柱建物を建てて暮らしていたようです。

また、平沢集落の北側には荒縄神社があります。アラハバキという神様の由来は諸説ありますが、そのなかに製鉄に関係する神様だとする説があります。もしかしたらこの神社は、古代に高野で鉄づくりをしていたことを、今に伝えているのかもしれない。

今年も引き続き発掘調査を行う予定です。



掘立柱建物跡

高野地区の発掘での作業風景

本田地区試掘調査

北会津町の本田地区で農地整備が計画されており、その範囲に埋蔵文化財が存在することから、事前に試掘調査を行い、正確な遺跡の範囲や内容を確認しました。

調査の対象となる範囲は二か所あり、そのうち一か所は、「二盃館跡」です。江戸時代に編纂された『新



本田地区建物の柱跡

本田地区菅原神社北側の堀跡

郷土研究の奨励

郷土愛の醸成を図ることを目的に郷土会津に関する調査、研究等を行った作品を毎年募集し、郷土研究に取り組み方の励みになるよう、優秀な作品には奨励金を贈呈しています。

令和4年度は準奨励賞4作品、努力賞3作品を奨励しました。準奨励賞以上の作品は市歴史資料センター「まなべこ」や会津図書館で閲覧することが出来ますので、ぜひご覧ください。

受賞内容	作品タイトル	氏名	所属
準奨励賞	アメリカの新聞に見るワカマツ・コロニーの実状と周辺地域	高野延光	—
準奨励賞	私が見つけた会津「終北録」	築田真知子	—
準奨励賞	戸ノ口ぜきのキセキ	安田瑛喜	第二中学校1年
準奨励賞	もう一つの会津!? 斗南藩大研究	高畑えみり	松長小6年
努力賞	僕が住む会津若松市飯寺地区の戊辰戦争と越後長岡藩士について	遠藤悠真	小金井小6年
努力賞	「御山産会津みしらず柿」のブランドは守れるか!?	渡部陽菜	門田小6年
努力賞	会津のおいしいお米	川崎海蘭	ザペリオ学園小6年



郷土研究奨励金交付式記念撮影

今後も歴史や文化財などに関する講座や散策会、郷土研究奨励事業などを実施する予定です。

随時市政だよりや市ホームページでお知らせします。



更には、上高野集落の南西側では、鉄滓(製鉄でできる不純物)や鉄を溶かす炉の破片が、少しですが見つかりました。過去の調査でも、平沢集落の北側などで鉄滓が見つかっています。製鉄炉の跡は見つかっていませんが、過去に周辺で鉄づくりが行われていたようです。

また、数点の弥生土器も見つかっており、弥生時代の人々も周辺で活動していたと思われる。

編会津風土記」に、石川氏が住む館であることが書かれており、菅原神社とその周辺であるとされています。

試掘調査の結果、神社の周りに堀跡が確認され、館の範囲が判明しました。

また、その西側の現在の集落近くにも建物の柱の痕跡などが発見され、陶磁器などが出土しました。柳津町の軽沢銀山と城下を結ぶ銀山街道沿いにあった、江戸時代やそれ以前の集落であると考えられます。

二か所目は、本泉寺の西側の畑で、平安時代の土器や江戸時代の陶磁器が採取されました。

調査の結果、住居跡などの遺構は見つかりませんが、遺跡とは認められませんが、一盃館跡の周辺も含めて、調査区全面に、河川由来の砂の層が堆積しており、下の層から、平安時代の土器も出土したことから、近くに当時の集落があったものと推測されます。